

Webシステム フロントエンド制作基礎

-Webシステム開発のトレンドを学ぼう-



◆ 講座概要

Webシステム開発で世界標準となっているJavaScriptをベースとして、フレームワークと呼ばれる枠組みを使った現代的な開発手法を学ぶ講座です。フレームワークを活用することで、開発業務の効率化や品質の安定化につながります。この講座では、フレームワークを使った代表的なプロダクトであるFacebook、Instagram、Netflix、Xで使われている、スクロールしても投稿が途切れず次々と表示されスムーズに投稿が読める、ページが変わっても必要な部分だけ更新され、快適な操作が可能になるといった、利用者の利便性を高める仕組みがどのように構築されているのかを体験できます。

◆ 対象

事業者でシステム開発に携わる方

◆ 定員

20名 ※申込多数の場合は、志望動機等による選考となります。



こんな方におすすめ

- スキルを磨いて高単価の仕事を受けたいエンジニア
- フリーランス志望で独立を目指すエンジニア
- 現職でキャリアアップを目指すエンジニア
- Webシステム開発のスキルを伸ばしたいJavaScript経験者（初中級レベル）
- JavaScriptを学んでおり、更に実践的な技術を身につけたい学生の方

◆ 講師



株式会社Sanukite（フリーランスエージェント）代表

水尾峻輔 UdonTech（香川県×Techのコミュニティ）主催

うどんの国Tech通信（ローカルTechメディア）編集長

2022年4月～2024年3月までSetouchi-i-Baseコーディネーターとして在籍。2012年よりエンジニアとして様々なシステム開発に従事してきました。特に2018年以降は東京のスタートアップを中心とした現代的なWeb開発にリモートワークで携わっておりまます。自身が旧来の開発環境から現代的な開発環境へ転向するときに苦戦したこと本講座に盛り込めたらと思います。

講師より

近年、システム開発の手法は多くの進化をとげてきました。その背景にはスマートフォンのように生活様式を変化させるほどの新しいデバイスの台頭やスタートアップのようにスピーディーに時代のニーズにフィットするTech系企業の活躍があります。これらのシステム開発では、従来のような厳密な計画を詳細に立案して正確に実行していく手法が、機能しづらくなってきました。

そこで最近ではこれらの変化の激しい事業環境でも機能するような柔軟さを実現するシステム開発の手法が数多く登場しています。本講座はこういった新しいシステム開発の手法を学び、日々の業務に取り入れていただく、経験者向けの内容となっております。新しい手法を取り入れることで、これまで敬遠していた最新のシステム開発の案件を取りに行くことも出来ますし、優秀な若手に活き活きとした活躍の場を作ることも出来ます。

詳しいカリキュラムは裏面へ

◆ 講座カリキュラム

日時	講義内容
<u>講座1日目</u> 6月18日(水)	1.モダンJavaScriptの潮流とフレームワーク ・Webフロントエンドとは、その中のJavaScriptの役割について ・JavaScriptの歴史(これまで乗り越えてきた課題とこれからの課題) ・フレームワークとは、ライブラリとは、それらの必要性 ※JavaScriptのみとフレームワークを使った場合の違い
<u>講座2日目</u> 6月19日(木)	2.モダンJavaScriptのおさらい ・必要なツールのインストール体験(VSCode、Node.js) ・モダンJavaScriptの演習
<u>講座3日目</u> 6月25日(水)	3. React(リアクト)を使ってみよう ・代表的なフレームワーク React を活用したコンポーネント(ソフトウェアの部品)ベースの開発とは。 ・Reactの基本構造 ※JSX(JavaScript XML)を書いてみよう ・簡単なコンポーネントを作成してみよう
<u>講座4日目</u> 6月26日(木)	4.コンポーネント同士を繋ないでみよう ・コンポーネントの分割と作り方 ・コンポーネント間でデータを受け渡す ・ユーザーからのアクションで特定の処理を行う仕組みを体験する ・簡単な演習(ボタンをクリックすると表示が変わるコンポーネント)
<u>講座5日目</u> 7月2日(水)	5.サイトの状態管理を使って動的なUIをつくろう ・状態管理とは(状態の概念と状態の取得) ・取得した状態をコンポーネントへ渡すには ・簡単なカウンターアプリを作成(ボタンで数値を増減) ・フォームの入力を管理する(フォームの状態を管理する)
<u>講座6日目</u> 7月3日(木)	6. Hooks(フック)を理解しよう ・Hooksとは ・代表的なHooks(フック)を使ってみよう ・Hookを自分でカスタマイズしよう
<u>講座7日目</u> <u>講座8日目</u> 7月9日(水) 7月10日(木)	7.簡単なミニアプリを作成しよう ・これまでの振り返り ・簡単なツールアプリを作成しよう

◆ 問い合わせ先

情報通信交流館 (Setouchi-i-Base)
☎ 電話番号 : 087-822-0111
✉ メール : info@setouchiibase.jp

* 2025年5月時点の情報です。講座内容は変更になる可能性がございます。

主催 : 情報通信交流館 (Setouchi-i-Base)

協力 : 株式会社 Sanukite

Curriculum